

笑顔あふれる学校・思いやりあふれる学校・チャレンジあふれる学校

令和2年度 飯野中学校 学校だより 第86号

自律
挑戦

志保井が丘

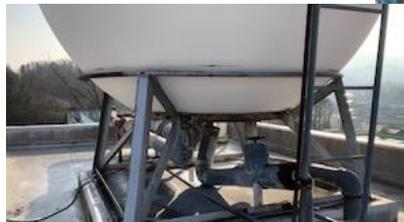
協働
創造

2021.2.17発行 文責 校長 目黒 満

教師・保護者・地域がみんなで見守り、みんなで育む学校

ご心配をおかけしました。

13日(土)深夜、震度6弱の地震発生を受け、12時前に学校に到着したところ、屋上からつながっている配水管からものすごい勢いで水が流れ落ちていました。本校4階校舎の屋上にある高架水槽を見に行くと、水槽下部の配管パイプが破損しており、折れたパイプからは大量の水が噴き出していました。



本校の水道やトイレで使っている水は、水道からの水を、一旦中庭にある大きな受水槽(タンク)に貯水し、そこから揚水ポンプを使って屋上の高架水槽にもう一度貯水し、上からの圧力で蛇口やトイレから勢いよく出しています。ところがその屋上の水槽に水がためられない状態になってしまいました。

夜中だったのですが、すぐに市に連絡を取り修繕をお願いし、翌朝14日(日)の朝から修繕作業が始まりました。

修繕作業と並行し、午前9時に職員が集まり、校舎内の安全確認と、破損・落下物等の撤去や整理といった復旧作業を行いました。特に、図書館の本の多くが飛び出しており、揺れの勢いで書架の壊れもありました。また、天井のボードの剥離や落下、壁と天井のつなぎ目のクラック、賞状の額や校長室の歴代校長の額も外れてぶら下がっていました。

復旧作業は11時ぐらいで終了し、水槽配管修繕も順調に進んでいるということで、校内の安全確認等を終え、先生方には「月曜日、通常の授業をしましょう！」と解散をしました。

その後、修繕作業は午後3時過ぎには終了し、ポンプで水を貯め始め、水の重さが水槽にかかるにつ



れて、水槽本体に亀裂が見つかり、水漏れしていることが新たにわかりました。水槽を支えている円形の枠と平行に亀裂が入っており、地震の揺れによって破損したことが想像できました。

このまま大量の水を貯めていけば、最悪の場合、水槽自体が水の重さで破壊されてしまい大変なことになるということで、夕方近くから対策を検討しました。

いずれにしても、水道・トイレが使えないことは明らかだったので、新しい水槽に取り替える大規模工事が、あるいはプロによる補修作業かという2択となりましたが、問題は工期でした。撤去・新規設置は2週間以上、プロによる補修作業なら2日半程度とのことでしたので市と協議し、修繕することに決まったのが夕方でした。幸いにも、偶然、今回の専門的技術を持った業者さんは、以前本校にお子さんを通わせていた本校PTAの先輩の会社でしたので、「飯野中のことなら！」と2日半の日程を2日で、最優先で取り組んでいただきました。

ただ、気になったのは生徒の怪我や精神的な動揺でした。もちろん、建物の被災も心配でした。そうした心配の中でも、最も大きかったのは、県立高校受験を3月3日・4日に控えた受験生である3年生のことでした。

大きな地震による動揺だけでなく、「市内の他の中学校3年生は通常の授業をしているのに、飯野中だけ臨時休業なんて・・・」とってしまうことで、この後1ヶ月もない生活・学習での焦りや不安を生み出すのではないかと考え、市教育委員会と飯野学習センターの全面的なご理解・ご協力をいただき、3年生のみ、三時間の授業を実施することができました。

学習センターは、本来火曜日は休館日。さらに月曜の夜からは雨風警報発令により避難所となりました。そんな中でも、「飯野中の生徒のためなら」と協力していただけたこと、心から感謝です。ありがとうございました。

今日から、水道・トイレともに使えますが、修繕作業後、しばらくは水に「におい」が残ります。そのため、飲み水・歯磨き時のうがい水等を水筒に入れて持参させてください。また今週末の土・日にも、水槽の追加工事が入ることになりましたので、週末の部活と来週も、引き続き水筒持参をよろしくお願いいたします。